

## 事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造								
基本事業	03 文化・歴史遺産の保存と継承								
開始年度	平成22年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

手段（事務事業の内容、やり方）

- 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。
- 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。
- 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらにはふるさと意識の醸成を図る。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	企画展開催数	回	2	2	2	2
活動指標2	展示資料点数	点	86	209	852	100
成果指標1	企画展入場者数	人	1,451	1,194	1,820	500
成果指標2						
事業費(A)		千円	96	59	97	186
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	2,344	2,347
総事業費(A+B)		千円	2,504	2,464	2,441	2,533

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	・小中学生の夏休み・冬休みに合わせたロビー展の開催	・展示印刷他経費 97千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 市民からの寄贈品や発掘調査で発見された資料など、文化財を保護することは市の役割であり、収集・調査した成果を市民に公開することも重要な役割である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 基本事業である「文化・歴史遺産の保存と継承」を市民に促す手段として、文化・歴史を物語る資料を公開することは基本であり、当事業の基軸である。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 23年度企画展では、夏季と冬季の2回、収蔵品を資料館ロビーにて無料で展示公開し、22年度特別展の入場者に近い人数の市民に郷土の歴史・文化を学習する機会を提供することができた。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 郷土資料館には、企画展を行う十分なスペース・什器等が無く、また人員も限られていることから、22年度企画展を上回る成果を見込むことは難しい。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 必要最低限の予算等で遂行していることから、コスト削減は難しい。